Early Music Series
古楽の愉しみ

第2回ショパン国際ピリオド楽器コンクール

優勝者コンサート

THE FRYDERYK CHOPIN INSTITUTE

International Chopin Competition on Period Instruments

新星によるソロ・リサイタル
ショパンが生きた時代の音
フォルテピアノの響き

［2018年 第1回コンクール 受賞者ガラ・コンサートより］

栄冠に輝くのは
誰なのか
世界が注目！

使用予定楽器
1843年製プレイエル（タカギクラヴィア株式会社所有）
協力：タカギクラヴィア株式会社

優勝者発表
10月14日（ポーランド現地時間）
※発表後、WEBでもお知らせします。

2024. **1/26（金）** 7:00PM開演（6:30PM開場） A ¥4,000 B ¥3,000（税込／全席指定）

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22阪急西宮北口駅南改札口スグ
JR西宮駅より徒歩15分（阪急バス7分）

一般発売	芸術文化センター チケットオフィス	芸術文化センター会員 先行予約受付開始
10/22（日）	0798-68-0255（10:00AM－5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日）	10/20（金）
	インターネット予約 https://www.gcenter-hyogo.jp	

※窓口での販売（残席がある場合）は10/24（火）より

※未就学児はご入場いただけません。

兵庫県立芸術文化センター

関西から文化力 POWER OF CULTURE

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

世界的コンクールのひとつ「ショパン国際ピアノコンクール」は、ポーランド政府とショパン・インスティトゥートによって運営され、これまでに数多くの才能溢れる演奏家を世に送り出してきました。この最高峰のコンクールを開催してきた運営者には長年の悲願がありました。それは「ショパンと同じ時代を生きた楽器でこそ、“本物の” 音楽が蘇る」という理念に基づいた、ピリオド楽器(*)フォルテピアノを使用するコンクールの開催です。そしてついに2018年「ショパン国際ピリオド楽器コンクール」が実現したのです。ポーランドが育んできたショパンへの深い愛情、尊敬の念にあふれたこのコンクールは、世界中から注目を集め、第1位:トマシュ・リッテル(ポーランド)、第2位:川口成彦(日本)とアレクサンドラ・シフィグト(ポーランド)、第3位がクシシュトフ・クションジェク(ポーランド)が入賞を果たしました。今年10月、いよいよ第2回目が開催されます。優勝者は日本でもその名演を披露し、芸術文化センターではソロ・リサイタルを行います。一早く優勝者の演奏をお聴きいただけるコンサートです。新星によるショパンが生きた時代の音をご堪能ください。

F. ショパン Frederic Chopin 1810–1849

(*)ピリオド楽器＝作曲者の時代に使用されていた楽器(オリジナルまたはレプリカ)

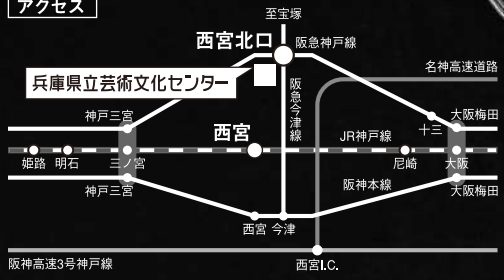
https://www.gcenter-hyogo.jp

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら

便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス